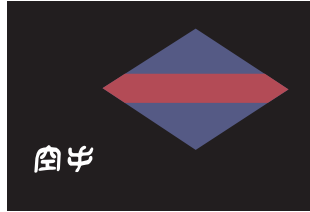


慶應義塾體育會空手部

三田空手会の理念



我が国最古の大学空手部として

【目的】

- ・ 體育會空手部は「慶應義塾教育の一環たる體育會」の一員であり、空手の錬磨、対外競技を通じ人格陶冶と部員相互の親睦を図る事を目的とする。
- ・ 三田空手会は「三田體育會」の一員であり、会員相互の親睦、空手道の向上、空手部の後援を目的とする。

【理念・行動方針】

體育會空手部

- ・ 自由な中にも礼節を重んじ、規律ある部生活を送る。
- ・ 試合の勝利、進級昇段を目指す中で、心技体の向上を図る。

三田空手会

- ・ 会員は空手の技量・段級や社会的地位とは無関係に会の下に平等であり、長幼の序を重んじつつ、その親睦を図る。
- ・ 體育會空手部に対し、指導者派遣、段級判定と共に、物心両面に亘りこれを後援する。
- ・ 船越義珍に師事し、先輩方の努力で体系化された本塾空手を貴重な生涯武道、伝統文化と認識し、伝承と研究・啓蒙活動を継続する。
- ・ 空手界の発展のため、全日本学生空手道連盟、全日本空手道連盟への参加・関与を積極的に勧奨し支援する。

慶應義塾體育會空手部 100 周年に向けての提言

【体制整備】

- ・ 全日本大学空手道選手権団体戦を制覇する。
- ・ 一貫体制を整備し、塾内各校空手部の交流体制を強化する。
- ・ 塾内外において「存在感があり魅力ある存在」となるための体制を整備する。

【基盤整備】

- ・ 多くの会員の結びつきを強くし、三田空手会と会員の相互の交流を強化する。
- ・ 三田空手会の財務体制を改革・安定させる。

【伝統整備】

- ・ 本塾空手部らしさを継承させる精神面の体制を構築する。
- ・ 本塾空手部の技術・歴史を継承する「有形無形の伝統継承体制」を構築する。